

援助実績一覧(2020年9月～12月)

	援助国/地域	援助活動名	援助団体	援助額(円)
国際カリタス緊急支援要請	ナイジェリア	紛争被害者の苦難と死亡率の軽減	Caritas Nigeria	627,400
	パキスタン	モンスーン洪水への対応プロジェクト	Caritas Pakistan	529,250
	ブラジル	ベネズエラからの移民対応プロジェクト	Caritas Brasil	529,250
	レバノン	ペイルート爆発による被災者の救済	Caritas Lebanon	529,250
	ニジェール	脆弱な洪水被害家庭支援	CADEF	611,110
	エリトリア	エリトリアにおける干ばつレジエンスと食の安全プログラム	CAFOD	523,250
	アルメニア	ナゴルノカラバフ紛争被害者人道支援	Caritas Armenia	622,300
	カンボジア	洪水緊急対応2020	Caritas Cambodia	519,650
	イエメン	アデンにおける保健医療と衛生的な水配給による人道危機対応事業	Caritas Poland	1,034,500
	トルコ	イズミル大地震緊急支援	Caritas Turkey	631,900
	フィリピン	カタンドゥアンにおける台風ゴニ被災者支援	NASSA/Caritas Philippines	631,900
	ホンジュラス	ハリケーンエタ被災者への人道支援	Caritas Honduras	517,250
	グアテマラ	ハリケーンエタとCOVID19の影響を受けた家族への人道的支援	Caritas Guatemala	517,250
	ニカラグア	ハリケーンエタ及びヨタによる被災者支援	Caritas Nicaragua	631,900
海外援助	スリランカ	南インドからの帰還家族及び、プランテーション女性のエンパワーメント事業	Caritas Sri Lanka(SEDEC)	4,219,994
	イラク	HOPEプロジェクト	Caritas Iraq	2,073,600
新型コロナ緊急支援	福島	カリタス南相馬としての緊急支援	カリタス南相馬	1,200,000
	福岡	新型コロナ感染症関連ホームレス支援	福岡おにぎりの会	1,000,000
国内援助	福岡	生活困窮者支援事業	でんでん虫の会	1,200,000
	愛知	外国人労働者救済支援センター(シェルター)運営事業	労働相談.com	2,500,000
	山梨	利用者出口支援事業のための清掃機材購入	山梨ダルク	891,300
九州豪雨災害	東京	令和2年7月豪雨災害復興支援	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	2,000,000



we are
Caritas



カリタスジャパンの活動への
ご支援を今後とも
よろしくお願ひいたします

カリタスジャパンの活動は皆様の日ごろの
募金と「四旬節愛の献金」によって支えら
れています。募金専用のゆうちょ銀行払込
票をご用意しておりますので事務局まで
ご請求ください。

◎匿名をご希望の方
払込票の所定欄にレ印、または通信欄
に明記ください
◎ご意向について
払込票の所定欄にレ印、または通信欄に
明記ください
＊記入がない場合は「最優先の援助先」と
させていただきます
＊「呼びかけ/受付中の募金」は、カリタス
ジャパンのホームページにてご案内して
おります

【2020年10月1日～12月31日の献金額】
(単位:円)
CJ運営寄付 214,882
本年四旬節 3,753,306
国際援助 1,831,877
海外援助 6,080,530
クリスマス募金 19,209,057
マジスリーサポートー 2,130,167
東日本大震災 1,681,966
スグー支援 21,732
新型コロナ募金 6,332,674
合計 41,256,191

2021年四旬節に寄せて

この一年、わたしたちはいのちの危機と直面して生きてきました。いのちを守る
ための選択は、皆が集まつたり支え合うことを難しくし、孤立や孤独の中に取り
残されている人も少なくありません。また社会の自粛は経済に影響を与え、貧富
の格差は拡大しています。
教会は、この難しい時代のなかにあっても、いつでも神のいくつしみを具体的に
示し、排除するのではなく互いに支え合い、連帯を促す存在でありたいと思いま
す。闇に輝く希望の光になりたいと思います。
昨年に続き感染症の困難に直面する中で四旬節を迎えてます。御父のいく
つしみを目にする形で生きる四旬節にあって、教会の伝統は「祈りと節制と
愛の業」という三点をもって、信仰を見つめ直すよう呼びかけています。
教会に集まって共に祈ったり、支え合うことに困難を感じる今の時ですが、すべて
の人が神の愛によって結ばれていることを思い起こし、祈りのうちに連帯してまい
りましょう。

私たちは、ウイルスという国境を越えて人々に影響を与える脅威にさら
されています。しかしキリストの愛は、距離、時間、思い、すべての困難
を乗り越えて、力強く広がっていくのです。
教皇フランシスコは四旬節メッセージの中で私たちに呼びかけます。
「愛をもって四旬節を過ごすことは、新型コロナウイルスのパンデミック
ゆえに苦しむ人、切り捨てられた人、不安の中にある人を世話をすること
です。」「わたしたちが愛のわざをもって、信頼に満ちたことばをかけ、
子として神に愛されているとその人が感じられるようにすることができますよ
うに。」
イエスは十字架上の死を覚悟し、また復活によるすべての人のための
救いのためにエルサレムに上って行きます。私たちも、困難にあっても
復活のいのちに信頼し、人々に希望を伝えていくことができますように。
皆様のご協力をお願いいたします。

カリタスジャパン担当司教 成井 大介

今月号は、2021年四旬節特集号です。今年の四旬節小冊子は、教皇メッセージのほかに、新しい試みとして、
カリタスの活動(視察)写真を掲載したカレンダーを配っています。今号では、それらの内容を中面で紹介しています。



02 東京 払込取扱票 通常払込料金 加入者負担	
口座記号番号	001705979
加入者名	（宗）カトリック中央協議会 カリタスジャパン
各欄の印書きは 払込人において 記載ください。	記載欄を訂正しないで郵便局にあ げてください。
四旬節献金	該当する方は <input checked="" type="checkbox"/> を付けて下さい。 <input type="checkbox"/> 匿名希望 <input type="checkbox"/> 領収証不要
住所	(〒) (TEL) 受付局 日附印
ご依頼人 氏名	受付局日附印
これより下部には何も記入しないでください。	料金受取印
私製承認第39820号	135-8585 江東区潮見2-10-10 カリタスジャパン事務局 お祈り係 ※お寄せいただいたお祈りは、カリタスジャパンの広報物、ウェブサイト等において、公表させていたぐ場合が ありますので、個人が特定されない形でお書きください。

払込金受領証	
口座番号	001705 通常払込料金 加入者負担 右詰めにご記入ください
加入者名	（宗）カトリック中央協議会 カリタスジャパン
各欄の印書きは 払込人において 記載ください。	記載欄を訂正しないで郵便局にあ げてください。
私の祈り	皆さまのお祈りを 本裏面に書いて切り取り、 カリタスジャパンへお送りください。 寄せられたお祈りは、 ミサで奉納いたします。
依頼人	おなまえ ご依頼人
住所	受付局日附印
ご依頼人 氏名	受付局日附印
これより下部には何も記入しないでください。	料金受取印
私製承認第39820号	135-8585 江東区潮見2-10-10 カリタスジャパン事務局 お祈り係 ※お寄せいただいたお祈りは、カリタスジャパンの広報物、ウェブサイト等において、公表させていたぐ場合が ありますので、個人が特定されない形でお書きください。

編集後記

カリタスジャパンのニュースレターも今回で327号となります。これまで長い年月の中で進化を
遂げて来ており、2007年に表紙のデザインを変えたり、2014年には編集方針も見直し、
現在のスタイルの4色刷り『We are Caritas』となり、お送りしています。
この3月末で15年間務めたカリタスジャパン事務局を退職しますが、これからもカリタス
ジャパンは進化を続けその取組みを皆様にお伝えしてゆくことでしょう。(田所 功)

聖句引用:日本聖書協会『新共同訳聖書』

We are Caritas No.21 (2021年2月号)
郵便振替番号 00170-5-95979
宗教法人トリック中央協議会 カリタスジャパン
発行人 菊地 功
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館
TEL:03-5632-4439 FAX:03-5632-4464
Email:info@caritas.jp URL https://www.caritas.jp
f https://www.facebook.com/caritasjapan



今、わたしたちはエルサレムへ上って行く
マタイ 20・18

ガザは東京23区の6割程度の小さな土地ですが、2006年以降陸・海・空とイスラエルによる軍事封鎖が続き、天井のない巨大な監獄といわれています。中には200万人がひしめき合い、逃げる場所がない中での度重なる空爆により、人々は疲弊しきっています。経済活動も極端に制限され、失業率は5割を超えるため、8割の人が海外からの支援なしに生きられません。インフラの破壊によって、上下水道、電気、病院、学校、あらゆるもの不足しているため、国連は「2020年にガザは住めなくなる」と発表しています。新型コロナ感染症対策では、カリタスエルサレムが、ガザで公衆衛生事業などを行っています。人々は口をそろえて「人間として生きる尊厳が欲しい」と訴えています。

パレスチナ自治区ガザ/空爆後の住民の様子

人類の未来は、政治家や大物リーダー、
大企業だけの手にあるのではありません。
未来は、他者を「あなた」と、自分自身を「私たち」と
認識する人々の手に委ねられています
教皇フランシスコ

この写真は、第21回国際カリタス総会（2019年5月）時のものです。国際カリタス総会は4年に一度開催され、150か国以上から全世界のカリタスが集い、総裁や事務局長の選出、今後4年間の活動方針の枠組みなどを決定します。2019年から2023年の国際カリタスのテーマは『one human family, one common home(私たちは一つの家族、地球はみんなのいえ)』です。教皇の横に掲げられたパネルは、ロヒンギャキャンプで活動しているカリタスバングラデシュの同僚の顔を、思いを同じく働いている世界中のカリタスの職員の顔のコラージュで表現したものでした。教皇フランシスコはスピーチ後、パネルに自身の写真を添えました。



実は、話すのはあなたがたではなく、
聖霊なのだ。

マルコ 13・11

1991年にロシアから独立したキルギスは、日本の半分ほどの土地に620万人が暮らしています。住民の多くはイスラム教徒である一方、ドイツ系、ロシア系移民のカトリック信者約400人も暮らしています。カリタスジャパンは、設立されたばかりのカリタスキルギスに対し2017年から組織強化支援を行っています。多くの地域でカリタスの愛が育つようにという思いを込めて、若いカリタスの育成に協力するためです。現地では、若者を対象に、天文学コースやコーチングコースも実施しており、宗教を超えた集いによって、将来のキルギス社会を支える人材が育つつあります。

キルギス／天文学キャンプにおける高校生による発表(祈り)



南スudan/トリット聖テレサ学校の生徒

わたしが与える水はその人の内で泉となり、
永遠の命に至る水がわき出る。
ヨハネ 4・14b

100年以上続いた南北スudanの衝突の末、2011年に独立を果たした南スudanでは、その後も大統領派と副大統領派の対立や北部地域(現スudan)との衝突が絶えず、非常に不安定な状態にあります。2018年には、恒久的な停戦を含むハルツーム合意がなされたものの、この先またいつ政変が起きるか分からぬ状況の中、多くの難民や国内避難民が発生しました。一方で、地域にとどまつた人々も同様に医療や食料不足に恒常に苦しんでいます。南部の町トリットの聖テレサ学校(写真の生徒の学校)では、カリタス南スudanが、生徒のために、食糧と飲料水を配布しています。こうした支援は、貧しい生徒を取りこぼさないためにとても有効です。世界で一番新しい国、南スudanが生まれ変わるのは、これからです。

中央アフリカ／無原罪の聖マリアの祝祭で祈る巡礼者



闇の中を歩む民は、大いなる光を見
死の陰の地に住む者の上に、
光が輝いた。

イザヤ 9・1

中央アフリカは1960年のフランスからの独立以来、政権が不安定でしたが、近年ようやく武装勢力間での和平合意が進んでいます。南西部ロパイエ県のボダの町の人々は、丘の上に聖母マリア像を運び、町をあげて無原罪の聖マリアの祝日を祝います。ロパイエ県の人々に行われるカリタスからの食糧支援は、人々の生活を直接的に助けるだけでなく、地域の食糧市場を間接的に助けることにつながっています。カリタスの活動が、人々の希望の光となりますように。

子供たちを来させなさい。
天の国はこのような者たちのものである。

マタイ 19・14

世界最大の難民キャンプといわれるバングラデシュ・コックスバザールのロヒンギャ難民キャンプでは100万人が狭い地域にひしめき合い、竹とブルーシートで作った仮設住宅に暮らしています。そもそも何もないところに作られた難民キャンプでは、トイレやクリニックなどが圧倒的に不足し、モンスーンの季節になれば土砂崩れが発生します。カリタスバングラデシュは、国連など協力して雨水をよけるための橋を架けたり、トイレを設置したり、クリニックや新型コロナ患者の隔離施設を作っています。ミャンマーでの迫害から逃れてきた人々と、その子どもたちの笑顔が絶えない世界を希求し、活動を続けています。



バングラデシュ／ロヒンギャキャンプで遊ぶ子どもたち

疲れた者、重荷を負う者は、
だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。
わたしの輒は負いやすく、
わたしの荷は軽いからである。

マタイ 11・28,30

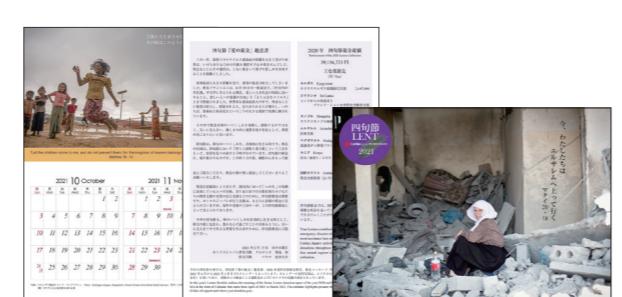
30年近く続いた内戦が2009年によく終わり、スリランカでは急速な経済成長が続いています。しかし、その裏で行われる女性たちの出稼ぎは、人身取引の危険性と常に隣り合わせとなっています。中部マータレー県で行われた人身取引防止のためのワークショップに参加した女性は「(娘が出稼ぎ中のため)孫を預かっているが、啓発トレーニングを通じて学校へ通わせることの大切さを改めて感じ、責任もって学校へ通わせている」「たくさんの問題を聞いてきた。その経験をコミュニティへ伝え、貢献していきたい」と話してくれました。経済成長の裏で虐げられる女性が少しでも減少しますように。



キリスト

四旬節「愛の献金」キャンペーン

2月17日、灰の水曜日から四旬節が始まりました。
今年も「愛の献金」にご協力ををお願い致します。
資料は灰の水曜日までに各小教区などにお送りしています。
追加など必要な場合はお問合せください。すべて無料でお送りしています。



四旬節小冊子
教皇メッセージ入りカレンダー



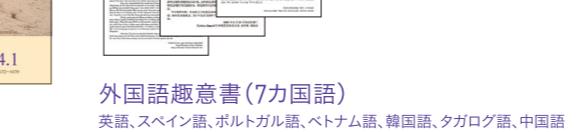
ポスター



組立て式募金箱

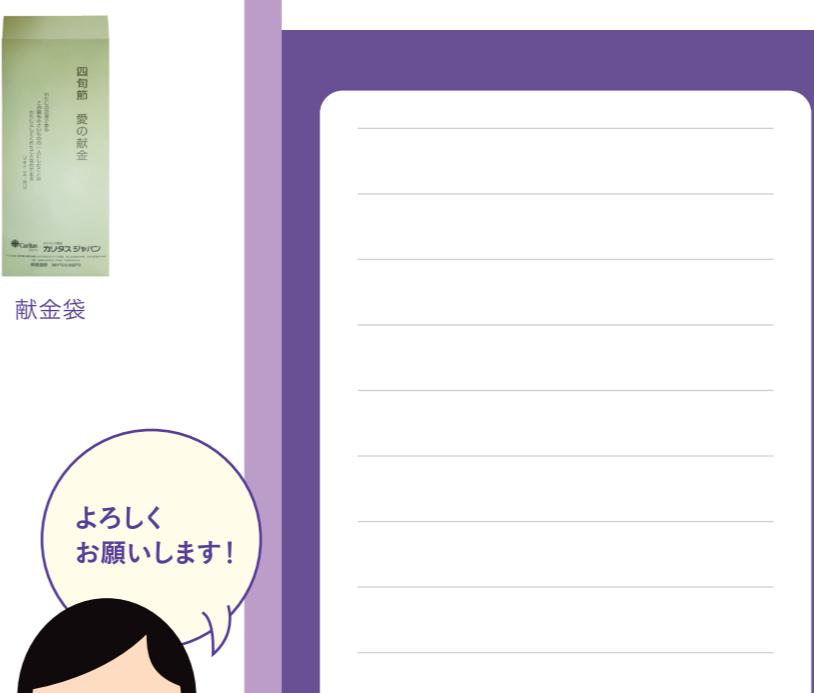


献金袋



四旬節 愛の献金 2021.2.17～4.1
英語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、韓国語、タガログ語、中国語

ご注意
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
□公表してもよい □非公表



この受領証は、郵便局で機械
処理した場合は郵便振替の払
込みの証拠となるのですから
大切に保存してください。

ご協力ありがとうございます

現在呼びかけ中・受け付け中の募金は下記ウェブサイトで案内しています。

〒135-8585
東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館

 宗教法人 カトリック中央協議会
Caritas Japan カリタスジャパン

Tel.03-5632-4439 Fax.03-5632-4464
E-mail : info@caritas.jp

URL : <https://www.caritas.jp>

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。